

ふるさとにっこり通信



自民改革会議
静岡県議会議員

あつ ゆき らち淳行 県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり

第30号 2019.3



平成31年度
予算関連

静岡県の平成31年度の取り組みについて

(一部抜粋)

静岡県の平成31年度予算が採決されました。わたくしが日頃から取り組んでいる点を含め、その一部についてお知らせいたします。

県民に身近な生活環境の整備 (道路、河川、砂防、観光施設、信号機等)

● 県単独生活環境整備事業費 **280億円**

通学路など生活道路の歩道整備、自転車の通行環境の改善、 停電対策(法面崩壊防止) (H31~H32:50億円)

● 「暮らしを守る道」緊急対策事業費(新規) **25億円**

河床掘削、海岸防災林の整備、水門・護岸等の施設 長寿命化対策ほか(H31~H32:50億円)

● 災害等予防保全緊急対策事業費(新規) **25億円**

重要インフラの緊急点検を踏まえ、国の「防災、減災、 国土強靱化のための3か年緊急対策」に呼応し、道路、 河川等の防災インフラ整備を国庫補助事業で実施する

● 一般公共事業(3か年緊急対応分) **78億円 136億円**
(2月補正)

国の3か年緊急対策(国庫補助事業)と連携し、 県単独事業で道路、河川等の防災インフラを整備

● 緊急自然災害防止対策事業費(新規) **40億円**

指標	基準値	今年度の見込	目標値
河川整備計画に位置付けた 主要箇所整備延長	39.5km	44.8km	52.8km
土砂災害防止施設整備箇所数	累計1,810箇所	累計1,851箇所	累計1,899箇所
通学路合同点検に基づく 交通安全対策実施率(箇所数)	57.4%(116箇所%)	78.7%(159箇所)	100% (202箇所)

これまでの進捗状況

皆様からのご意見をいただき、2期にわたり継続して行っている活動の一つとして、災害対策等があります。自ら津波被害想定を先駆けて作成するなどの取り組みも行って参りました。今回、継続した活動と国会議員や国、県のご協力により防災インフラの整備等が進められることになりました。安心して安全な生活を守るため、緊急性等を十分に確認し進めていく必要があると考えています。



公共・単独関係
らち淳行の活動で
防災インフラの
整備等が進む

● 風水害や土砂災害、山地災害等の対策を重点的に推進します。
● 安全な道路環境を確保するための歩道整備、自転車の安全で快適な走行を実現する自転車環境の整備、道路の交通渋滞の解消を図るためのハード・ソフト対策、「予防保全管理」による道路施設の長寿命化など、適切な道路の維持管理等を推進します。



※写真はイメージです。



※写真はイメージです。

●これまでの進捗状況

指標	基準値	今年度の見込	目標値
水産物の新たな流通体制構築・高付加価値化取組件数	(2017年度) 5件	6件	毎年度 5件
水産物の効果的な資源管理に向けた新たな取組件数	(2016年度) 3件	3件	毎年度 3件
漁業高等学園卒業後の漁業就業数	(2016年度) 15人	16人	毎年度 15人

- 水産振興や資源管理等に関して新たな取り組みを図る水産業者を支援
●水産イノベーション対策支援推進事業費助成(新規) **5,000万円**
- 新鮮で高付加価値な県産水産物を供給する地場流通体制を構築
●新たな流通体制の構築による水産物の魅力向上事業費 **1,000万円**
- 資源管理推進と漁業経営安定化を支援
補助率: 1/4、期間: H32 年度末まで
●資源管理・漁業経営安定事業費助成 …………… **700万円**
- 調査船「駿河丸」の老朽化及び海洋微生物採取等の機能強化に伴う再整備(H33 竣工予定)
●調査船「駿河丸」代船建造事業費(新規) …………… **1,100万円**
- 海技士育成に向けた学園の機能強化(卒業生へのフォローアップ体制構築、実習機器等の更新 ほか)
●漁業高等学園管理運営費 …………… **3,000万円**

●水産振興、資源管理、人材確保に対する漁業者等の新たなアイデア等を確実に実現させるための業界横断型の総合的相談体制を整備し、新たな支援制度を創設します。

●生産・流通段階の新たな取り組みの定着と未解決の課題の解決に向けた取り組みを普及させます。

●漁業高等学園を核とした新規就業者の確保に向け、入学者数の増加や中途退学者の減少、漁業現場と連携した海技士資格取得者の増加に向けた新たな対策を実施します。



特定第3種漁港を有する地元焼津の議員として、関連団体の皆様のご意見をいただき、国や県との折衝に取り組んでおります。静岡県の水産振興に関する条例の策定については事前検討時からかわり、制定につなげてきました。地元の重要な産業の活性化のため、行政として取り組まなければならないことをしっかりと見極めて一体となって取り組んでいく必要があると考えています。

水産関係
水産振興に関する条例の施行とあわせ、新たな水産王国静岡の創造



※写真はイメージです。

●これまでの進捗状況

指標	基準値	今年度の見込	目標値
多忙化解消に向けた研究成果を活用した学校の割合	—	H31.3 公表予定	100%
静岡式35人学級実施学年	小4まで	小6まで	全学年
ふじのくに実学チャレンジフェスタ入場者数	3,000人	3,200人	3,500人

- 教員の多忙化解消のため、事務作業等を支援する地域の人材を配置(H30 当初:220人→H31 当初:488人)
●スクール・サポート・スタッフ配置事業費 …………… **3億8,200万円**
- 静岡式35人学級編制の拡充 国加配、県単独措置106人学級編制の下限を中学3年まで完全撤廃
●三島田方地区及び浜松地区の新校建築・改修工事(H33 開校予定) 普通教室全室への空調設置(H31 夏までに完了) 特別教室全室への空調設置に着手(H32完了)ほか
●特別支援学校の教育環境充実 …………… **12億2,400万円**
- 専門高校への実習用設備導入の前倒し
●ふじのくに実学チャレンジフェスタの開催
●地域産業を支える実学奨励事業費 …………… **1億2,300万円**
- 老朽化した県立学校の建替や長寿命化改修を計画的に実施
●県立学校等長寿命化事業費 **12億5,800万円** 【焼津関連】 焼津水産高校 **1億2,300万円**

●実学チャレンジフェスタにおいて、他団体主催のものづくり体験イベントとの共催を図るなど、地域産業界等との連携・協働を更に進めます。

●小・中学校における全国学力学習状況調査結果の活用を図り、着実に改善の取り組みを進め、計画的な家庭学習の実施率の向上と併せて、学力の向上に取り組めます。

●教育委員会が一体となって学校における業務改善に関する検討会を設置し、モデル校での取り組み等を学校現場に周知・還元して教職員の意識改革を図り、広範な業務改善につなげます。



市議会議員4期16年の経験時から、長期的な視点において地域の活性化のためには、次代を担う子供への教育が重要ととらえ、活動を継続しています。35人学級についてや、教員の多忙化解消についての取り組みも積極的に行ってまいりました。また、地元産業の活性化のためにも学力の向上について行政が積極的に取り組むことが必要と考えています。

学校教育関係
教育・人づくりの充実のため



※写真はイメージです。

●これまでの進捗状況

指標	基準値	今年度の見込	目標値
県の支援により造成された本県宿泊旅行商品数	(2016年度) 3,181商品	3,270商品	3,500商品
静岡ツーリズムビューローが取り扱う旅行商品成約額	(2016年度) 0円	7,200万円	1億6千万円
観光地域づくり整備計画策定数	—	17計画	累計 50計画

- DC本番商品等の効果検証を踏まえた秋冬ツアーパッケージの開発 ほか
●デスティネーションキャンペーン推進事業費 …………… **6,800万円**
- 本県インバウンド施策の中心である静岡ツーリズムビューローの取組支援 ほか
●観光誘客関連事業費 …………… **2億9,000万円**
- ラグビーワールドカップに向けた海外個人客向け商品の造成、販促 ほか
●大型イベント直前インバウンド対策事業費(新規) **2,000万円**
- 英語など7か国語対応の多言語コールセンターの設置、宿泊施設のバリアフリー化への助成 ほか
●訪日観光客受入環境整備促進事業費(新規) …………… **3,100万円**
- 市町の観光地域づくり整備計画に基づく面的な観光地域づくりを支援
●観光施設整備事業費 …………… **11億円**

●「静岡ツーリズムビューロー」が実施する外国人のニーズに合った満足度の高い体験プログラムの開発を支援するとともに、商工・農林水産業、交通基盤など庁内の様々な部門と協働した総合行政によるインバウンド施策を推進します。

●Wi-Fiスポットの面的な整備や、市町が管理する観光施設のユニバーサルデザイン化を支援します。

●デスティネーションキャンペーンを契機に、多くの方々に来訪していただくため、地域と連携して観光素材の磨き上げを行い、本県の食や体験を組み込んだ付加価値の高い旅行商品の造成や誘客拡大を図ります。



現在、静岡県には富士山や豊かな農水産物、そして開催間近なラグビーワールドカップなどの魅力が多くあり、その発信についての取り組みを行って参りました。その中においても、民間と行政が一体となって取り組むことが重要と考えています。

観光関係
ふるさと焼津をはじめとした魅力を活かした観光交流の促進のために

農業関係 食生活を支える農業の 維持と効率、付加価値化 のために

● AOO-PARCCの拠点機能やプロジェクトの成果を発信し、AOOフォーラム参加者を増加させるほか、各コンソーシアムが取り組む研究開発の早期の事業化を図ります。

● てん茶やドリンク原料の生産に必要な機械・施設整備や、流通で求められるGAP等の認証取得を支援します。

● 専門職大学の2020年4月の開学に向けて、大学の運営に関する諸規程の整備や学生募集、校舎等の施設整備など、ソフト・ハードの両面で準備を進めます。



※写真はイメージです。

これまでの進捗状況

指標	基準値	今年度の見込	目標値
AOIフォーラム 企画会員数	—	155会員	200 会員
GAP認証取得 農場数	(2016年度) 3,207農場	3,700農場	4,500 農場
農業法人数	(2017年度) 788法人	860会員	1,000 法人

- 革新的な栽培技術や品種開発により、農業の生産性を飛躍的に向上 ほか
- 先端農業プロジェクト関連事業費 …………… 5億1,200万円
- 産地主導型のマーケティング活動支援、鉄骨ハウス等の新設支援
- 農芸品供給拡大緊急対策事業費 …………… 1億3,100万円
- ビジネス経営体による施設・設備の導入や認証取得への支援
- 茶産地構造改革事業費助成 …………… 7,700万円
- 民間企画案を活用した静岡茶の新しい需要創出
- 静岡茶の新たな需要開拓事業費(新規) …………… 1,000万円
- 専門職大学の開学準備、施設整備 ほか(H32.4月開学予定)
- 農林大学校専門職大学移行事業費 …………… 14億5,000万円
(2月補正含む)

地元の産業だけでなく、県民の食生活を支える重要な農業。その様々な課題については関連団体の皆様から、現状とご要望をお伺いしております。農地管理の問題や人材の確保・育成、スマート農業をはじめとした効率化、商品の付加価値化等の促進の重要性を感じ、活動を行って参りました。農業者の皆様の日々の取り組みの効果がより効率的に発揮される取り組みについて行政が積極的に取り組んでいくことが必要と考えています。



※写真はイメージです。

これまでの進捗状況

指標	基準値	今年度の見込	目標値
小規模多機能型 居宅介護事業所数	147事業所	162事業所	181 事業所
認知症サポーター 養成数	累計 267,612人	累計 313,806人	累計 360,000人
地域包括支援 センター設置数	143箇所	160箇所	165 箇所

- 特別養護老人ホーム1か所 ほか
- 介護保険関連施設整備事業費助成 …………… 23億6,900万円
- 【新規】就労メニューの開発(1か所)、オレンジリンク養成研修(3回) ほか
- 認知症対策関連事業費 …………… 1億400万円
- 多様な生活支援サービス等の創出支援や地域リハビリテーションサポート医等の専門職の人材養成等を行う
- 地域包括ケア推進事業費(介護分) …………… 6,200万円

人口減少に加え、後期高齢者の割合が増加し、認知症の方が急増しています。また、これに加え、高齢者のみの世帯が増加し、困ったときに近くに頼る人がいない現状があります。行政としてもハード面だけでなくソフト面を含んだ取り組みが必要と考えております。



高齢者福祉関係 いつまでも住み慣れた ふるさとで暮らせる 社会のため

● 施設サービスへのニーズを踏まえ、計画的な施設整備等を推進します。

● 若年性認知症の大きな課題である就労継続や社会参加の機会確保に向けて、企業の理解促進や居場所づくりなど様々な支援を推進します。

● 家庭における生活課題も複雑化、多様化しており、地域包括支援センターが中心となり、医療・介護を始めとする多職種が連携して、相談支援に応じる体制を充実させます。



※写真はイメージです。

これまでの進捗状況

指標	基準値	今年度の見込	目標値
声かけサポーター 養成数	231人	200人	累計 1,000人
障がい者スポーツ 応援隊派遣回数	3回	17回	毎年度 17回
発達障がい児の 支援に携わる 専門人材養成数	累計 618人	175人	累計 700人

- 障害者施設等整備費助成 …………… 1億6,400万円
- 【焼津関連】 連 4,800万円
- H32.4月に委託化する発達障害者支援センター(東部・中西部)の開設準備 ほか
- 発達障害者支援関連事業費 …………… 1億6,400万円
- 手話挨拶運動推進員の養成、小中学校手話体験教室の開催 ほか
- 手話言語普及促進事業費 …………… 500万円
- オフィスや店舗等へレンタルアートを貸し出し支援オフィス:中部→東部、中部、西部
- 障害者文化芸術振興事業費 …………… 3,500万円
- パラリンピック競技を中心とした障がい者スポーツの体験機会の提供
- パラスポーツ王国推進事業費(新規) 1,600万円

どのような障がいをお持ちの方も、ふるさとで暮らすことは、ご家族を含めた願いであると考え取り組みを行っております。多種にわたる相談への窓口の充実や啓発等について、行政が取り組んでいくことが特に重要と考えております。



● 啓発講座の開催や学習動画の作成などにより手話が言語であること、社会的認知の向上や手話の普及を推進します。

● パラサイクリングの体験機会を増やすこと等により、障害のある人や一般市民のパラリンピックに対する関心を高め、併せて県民の理解促進のため、障害者スポーツについて、更なる啓発をしていきます。

● 県障害者文化芸術活動支援センターを拠点に、相談支援窓口の開設、情報収集発信、支援人材の育成などを行い、オリンピック・パラリンピック文化プログラムと連携しながら、障害者の文化芸術活動の裾野を拡大していきます。

● 東部地域への支援の充実や、成人期の就労支援など専門性の高い支援の提供に向けて、発達障害者支援センターの機能充実をさせます。

障がい者福祉関係 誰もがふるさとで共に 過ごせる地域のため

ふるさと「焼津」を守るために!

らち淳行は長期的な視点で人口減少への取り組みを行う必要性を感じ、活動を行って参りました。

国と連携し、行政、産業団体、各種機関が協力して取り組むことが必要と考えております。



焼津の人口減少をストップ



※写真はイメージです。

これまでの進捗状況

指標	基準値	今年度の見込	目標値
公的保育サービス受入児童数	61,371人	64,348人	75,957人
延長保育実施箇所数	530箇所	550箇所	570箇所
産婦健康診査実施市町数	0市町	25市町	全市町

- 認定こども園等の整備を行う市町への助成(12か所、定員577人増)
- 認定こども園等整備事業費助成 17億7,100万円
- 乳幼児保育など、多様な保育サービスを実施する市町への助成
- 多様な保育推進事業費助成 12億7,700万円
- 放課後児童クラブ等の整備を行う市町への助成(44か所、定員1,249人増)
- 子育て支援施設整備費助成 3億5,600万円 【焼津関連】 なかよしクラブ 600万円
- 運営する市町への助成(クラブ数:814→856か所)
- 放課後児童クラブ運営費助成 15億2,200万円
- 市町との合意を踏まえ所得制限を撤廃(H31.4月~) 高校生世代を対象として政令市に期間限定で助成(H31.10月~H35.3月)
- こども医療費助成 25億5,600万円
- 児童の保育所、幼稚園等の通園費等を無償化し(10月から)、利用者負担を軽減 ほか
- こども子育て支援給付費負担金 142億2,200万円

● 保育所や認定こども園等の利用料を無償にする国の方針を受け、子どもを預けて働きたいと考える保護者が増える可能性も踏まえ、市町と連携して定員拡大をします。

● 多様な保育サービスの提供や放課後児童クラブを運営する市町を引き続き支援します。

● こども医療費により、引き続き子育て世代の経済的支援を実施します。

子育て支援関係

人口減少社会の克服へ、子育て支援の充実のため



現在の人口減少のスピードには危機感を感じ積極的な活動を行っております。イメージとして、今のままのスピードでは、20~25年後には静岡県内で静岡市と同じ人口がいなくなるようになります。地方行政はもちろん、すべての産業や、教育等の仕組みなどがその継続の問題に直面することが予測されます。私は、市議会議員の時からこの問題を提起しふるさとを守るためには長期的な視点で人口減少への取り組みを行う必要性を感じ、活動を行って参りました。待ったなしの課題であり、国と連携し、行政、産業団体、各種機関が協力して取り組むことが必要と考えております。



自由民主党中小企業対策連絡協議会にて

これまでの進捗状況

指標	基準値	今年度の見込	目標値
新事業展開を目指す中小企業等の相談対応件数	(2016年度) 3,454件	3,519件	3,600件
中小企業向け県制度融資(事業資金等)利用件数	(2016年度) 4,557件	4,735件	5,000件
事業承継診断実施件数	—	5,000件	毎年度 5,000件

- 経営革新計画に伴う新商品開発等の事業を支援(140件程度)
- 経営革新計画促進事業費助成 2億4,000万円
- 工夫・改善による取り組みを実施する小規模事業者を支援(500件程度) 支援対象の要件を緩和し、事業承継時の新規事業への挑戦を促進
- 小規模企業経営力向上支援事業費助成 2億2,000万円
- 経営力の向上に取り組む中小企業に専門家を派遣(1,750回程度)
- 中小企業支援センター事業費 6,700万円
- 事業承継ネットワークによる事業承継診断や普及啓発、相談支援
- 事業承継推進事業費 1,300万円
- 中小企業向け制度資金 <融資枠1,200億円> 利子補給額 12億600万円

● 経営革新制度の周知や、産業支援機関等と連携した相談対応計画作成支援・フォローアップを実施するとともに、ICT技術の活用等による生産性向上に向けた取り組みを支援します。

● 県制度融資の周知を図るとともに、中小企業や金融機関の意見、要望を把握し、経済情勢に応じて制度の充実や見直しに取り組めます。

● 事業承継の実績を増やすため、事業引継ぎ支援センターや市町をはじめとする関係機関と密接に連携しながら、個別支援を強化します。

中小企業対策関係

経済成長の加速と産業人材の確保のため



日頃より各種団体の皆様からいただくご意見からも、経営の効率化に加え、人材の確保については、人口減少とともに日本全体、静岡、焼津において喫緊の問題であると考えています。特に地元産業を支えていただいている中小企業にとっては事業継続にかかわる重要な問題ととらえ取り組みを行って参りました。各企業だけで解決できる問題ではなく、国と連携した行政の取り組みが必要であると考えています。

ふるさとにっぴり通信 第30号
自民改革会議 静岡県議会議員

らち淳行 県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり

らち淳行公式ブログをご覧ください
活動内容をご報告しています

検索 らち淳行 思ったこと

<http://rachiatsuyuki.eshizuoka.jp/>

発行 らち淳行 事務所 静岡県焼津市一色488 TEL 054-631-6123

